

新冠百話

第九十四話

「昭和三十年大水害の証言」

(要約文)

私は大正十年に本町で生まれ、農協に勤めていました。大水害の前日はいい天気で潮干狩りに行きましたが、その晩大雨が降りました。

朝、「水が出てきた!」との声を聞き、消防の上へのぼって眺めると町が水浸しになっていました。職場の農協へ行つて説明したが、そうこうしている間にも水は増え、家屋が流されはじめました。住宅にいた職場の人は、流された奥さんを助けようとして共に犠牲になりました。

やがて堤防が崩れ、中央町まで水が来てしまった。私は同僚と、鉄橋のところで流れてくる人の救助に当たりました。屋根に人が乗ったまま流れてきたのでロープを下ろしたが、貧弱なロープで救助し難く、中学生くらいの子が落ちて流されてしまった。その後ロープに樽を付けて下ろし、流されてきた知人はそれにつかまって助かりました。網も使いましたが、木が流れてくるのでためなのです。木工場で働く私の親戚も流されてきました。しかし橋脚にぶつかって、体勢を崩して流されてしまい、助かりませんでした。

そのうち海の潮が引いてくると、水の流れがさらに強くなった。鉄橋に波が当たると、橋脚が倒れると感じてめまいがしました。

二階建ての家の屋根にたくさん人が乗って助けを求めていました。助ける方法が無く、知人と駅へ走って行って、ヘリコプターを要請しました。ヘリがやってくる頃には、もう家は半分潰れていました。流された人もいましたが、ヘリのロープにつかまり助けられた人もいた。私たちはそれをはらしながら見ていました。

父の営む漁場の船も救助に使われました。沖に流された人の救助へ向かい、木につかまっていた男女二人を助けました。



大水害時の新冠川濁流と鉄橋
昭和30年7月4日

冬の交通安全運動が実施されます (11/13 (金) ~ 11/22 (日))

- 飲酒運転の根絶
- 「ハンドサインでストップ運動」で事故防止
- 凍結路面でのスリップ事故に注意
- タイヤ脱落に注意しましょう

(違和感があれば即停止・車両点検)

静内警察署

火災・救急出動状況

() かつこ内は前年同期

区分	火災件数	救急件数	災害出動件数
9月	3件 (0件)	23件 (22件)	4件 (0件)
8年1~9月	4件 (3件)	269件 (228件)	17件 (8件)

交通事故発生状況

() かつこ内は前年同期

区分	発生件数	死者	傷者
9月	0件 (3件)	0人 (0人)	0人 (4人)
8年1~9月	2件 (5件)	0人 (0人)	2人 (6人)

人のうごき

(令和8年9月末現在)

人口	4,900人	(前月比 △18人)
男	2,511人	(前月比 △15人)
女	2,389人	(前月比 △3人)
世帯	2,835世帯	(前月比 △14世帯)

戸籍の窓

9月6日~10月5日までの届出分(敬称略)

●お誕生おめでとうございます

山岡 広拓(拓矢 琴美) 中央町

●おくやみ申し上げます

岩見 末秋 76歳 明和
大滝 ふじゑ 79歳 北星町
今村 昇 92歳 中央町
和田 利夫 94歳 北星町
橋本 モト 98歳 中央町
熊谷 まき古 103歳 古岸

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係
☎ 0146・47・2112

町公式ホームページ 町公式フェイスブック

